

山上大使祝辞

池田俊一氏に対する令和2年秋の叙勲伝達式

令和3年4月8日（木） 於：大使公邸

まずは、池田先生におかれては、旭日双光章のご受章、おめでとうございます。

また、本日お集まりの皆様におかれては、本日の伝達式にご参加いただき、ありがとうございます。

池田先生が受章された旭日双光章勲章は、日本国として、国家又は公共に対し功労のある方を表彰するものです。

本来であれば、昨年秋に国内で受章式が行われ、天皇陛下への拝謁なども行われる予定でしたが、コロナ禍のために実施しないこととなり、この場において、本日、勲記・勲章を伝達するものです。

先生のご功績について、簡単にご紹介いたします。

先生は豪州国立大学において35年間にわたり日本語講師を務められ、その間も同大のアジア・太平洋研究学部の日本センター長として長くご活躍されました。また、40年以上にわたり豪日協会の活動に参加され、現在もなお、豪州における日本語教育の振興、日豪両国の友好親善のため、多大な貢献をしてられました。

本日、ご列席の皆様の中には、ご家族の皆様、また先生とともに日豪両国のために長く活動されてきた皆様、豪州国立大学における先生の教え子で

、現在は大使館で日々日豪関係の幅広い分野において力を発揮されている皆様も参加しています。

特に、こうした教え子の皆様の存在こそ、日豪関係の基盤であり、その意味で池田先生のご貢献は、将来にわたり世代を超えて引き継がれるものと考えております。

それでは、先生のこれまでのご尽力に感謝し、引き続きのご活躍、そしてご健康・ご多幸を祈念しつつ、日本政府を代表し、旭日双光章の勲記・勲章を伝達いたします。

本日は誠にありがとうございます。